

医療提供対応状況について（介護施設）～詳細～

Page 1

登録No 152

1. 施設名	社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院介護医療院			
2. 住所	〒	800-0257		
	小倉南区湯川五丁目10-10			
	TEL	093-923-8833		
	FAX	093-923-8834		
3. 地区	小倉南区 湯川			
4. 入所相談対応者	公開	①氏名	竹本 裕子	
		①職種	地域医療連携室看護師	
		②氏名	黒川 良美	
		②職種	地域医療連携室看護師	
5. 施設種別	介護療養型医療施設			
	【補足】『その他』（詳細）	介護医療院		
6. 施設の居室 タイプ・ベッド数	従来型			
	【補足】『従来型』（詳細）	①個室	あり	
		②ベッド数	24床	
7. ショートステイ	なし	【補足】	—	
8-1. 看護職員の 雇用状況	雇用している			
	①常 勤	18人		
	②非常勤	人		
8-2. 看護職員の 夜勤体制	公開	必ず看護職員がいる		
		【補足】		
		①『オンコール対応』時間	—	
		②『その他』（詳細）	—	
9. 施設の入所基準 ～介護度～	—	自立 ⇒ 【補足】	— (年齢)	
	—	要支援 1		
	—	要支援 2		
	○	要介護 1		
	○	要介護 2		
	○	要介護 3		
	○	要介護 4		
	○	要介護 5		



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院介護医療院		
10-1. 施設の入所基準 ～若年性認知症～	公開	若年性認知症患者の受入に係る相談対応の可否 ×	
10-2. 施設の入所基準 ～その他～	公開	受入の可否	
		○	生活保護
		○	身元保証人がいない
10-3. 施設の入所基準 ～医療対応状況～	対応可能な項目について		
	A	B	※A…入所時、B…ショートステイ時
	○	—	経管栄養（胃瘻・腸瘻）
	○	—	経管栄養（経鼻）
	—	—	CVポート
	—	—	中心静脈栄養
	○	—	血糖・インスリン注射
	○	—	点滴静脈輸液
	○	—	褥瘡処置
	○	—	膀胱留置カテーテル
	○	—	膀胱瘻
	○	—	導尿（自己のみ）
	—	—	気管切開
	—	—	人工呼吸器
	○	—	酸素吸入
	○	—	腎瘻
	○	—	浣腸・摘便
	○	—	ストーマ（消化器・尿路）
	—	—	血液透析
	—	—	腹膜透析
	○	—	感染症（MRSA・疥癬他）
	○	—	神経難病
	○	—	喀痰吸引
	—	○	喀痰吸引（夜間）
	—	○	喀痰吸引（昼間）
	○	—	終末期
	—	—	麻薬を用いた疼痛管理
	—	○	施設にて看取り（10-4.実績数）
	—	○	状態悪化時、病院搬送



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院介護医療院				
10-4. 施設の入所基準 (看取り実績)	公開	昨年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の看取り実績数 22 件			
11. 手話及び 外国語対応	対応職員の有無など				
	手話	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	英語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①職種	—	
			②人数	—	
	その他 対応可能 言語	いない	【補足】『いる』(詳細)		
			①種類	—	
			②人数	—	
12. 食 事	対応の可否など				
	食形態	○	ソフト		
		○	ミキサー		
		○	とろみ		
		○	ムース		
		○	きざみ		
	治療食	—	分割食		
		○	肝臓食		
		○	腎臓食		
		○	糖尿病 ⇒ 【補足】(詳細) 1200～1800kcal		
		○	塩分制限 ⇒ 【補足】(詳細) —		
	—	○	アレルギー除去食		
		○	嗜好による個別対応		
13. リハビリ対応	公開	リハ加算	算定している		
	公開	リハビリ 職員数	P T	2人	
			O T	2人	
			S T	2人	
14. 入浴(浴槽)	○	個 浴			
	○	機械浴	⇒ 【補足】	車いす	○
				ストレッチャー	○
				リフト	—



当掲載内容は2024年3月に実施した調査回答を基にしています。

最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。

1. 施設名	社会医療法人北九州病院 北九州湯川病院介護医療院		
15. 透析患者の 受診送迎	公開	—	
		【補足】	— に対応
		—	
16. その他	公開	入所時、利用者の主治医を事業所嘱託医等に変更している？	
		変更する	
17. 施設の特色	・ VF（えん下造影検査）を実施し、食事のえん下機能を評価し、本人に合った食事形態の選択や訓練を行うことができる。		



当掲載内容は 2024 年 3 月に実施した調査回答を基にしています。
最新の対応状況は、当該施設へご確認ください。